

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら広島府中教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年11月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年11月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な資格を持った職員が連携しながら子供に対応している	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問に思ったことを職員間で話をしている。 ・療育や児童対応に必要な情報を保護者からいただき、職員に共有している ・活動プログラムの内容によっては、職種の強みを生かして立案したものを活動に組み込んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員内で話しをする時間を定期的に持つ ・多職種の知識も学びあう ・職員研修を定期的に行いながら学びあう
2	保護者が相談しやすい、話しやすい環境を作っている	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者面談を行っている。 ・保護者の要望や希望に迅速丁寧に対応している ・サービス提供記録には写真を入れたり、療育のねらいや詳細な内容を入れて、その日の様子をわかりやすくお伝えできるように心掛けている。 ・専門用語をできるだけ使わず、わかりやすくお伝えしている。 ・保護者同士で話せる親睦会を定期的に行い、子育ての情報共有できる場を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや感染対策のお知らせを早めに周知する
3	活動プログラムが固定化しないように工夫し、子どもたちが楽しんで活動に参加できるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容を個々の発達に合わせながら多様に対応できるようにしている。 ・公園やおでかけなどの活動を組み込みながら、地域とつながりを感じられるようにしたり、様々な体験ができるように工夫している。 ・季節の行事や気候に合わせた活動内容にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の意見をしっかりと聞き、活動プログラムに反映させていく。 ・見通しを持ちやすいように構造化を工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の弱さ	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な取り組みしてきたが周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに参加していない方にも知っていただけるよう、活動記録などいろいろな方に情報提供していく。 ・SNSの活用。（HP、Instagramなど）
2	環境構成が不十分なところがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・物的環境の安全に不安な箇所がある。 ・マット下やエアコン清掃の清掃間隔が伸びている。 ・必要最低限のおもちゃは揃っているが、定期的なおもちゃの見直しまではできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定できる棚は固定する。 ・環境整備を定期的に行うようにする。 ・発達に合わせた療育玩具やおもちゃを定期的に見直しをしていく。
3	職員間の報連相が十分に行えていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の職員と時間差勤務の体制になっているので、情報が全員に届いてない場合や連絡が止まっている状況が生まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰がどのように伝えるのか、教室内のシステム作りをしていく。 ・出勤時間上、情報伝達がすることが難しい職員に対しての対応を考える。（書面で良いものは見てもらい、口頭での背説明が必要なものは時間を工夫してつくるようにする）

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら広島府中教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年11月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数)	26人
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年11月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との関係性を大切にしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGや送迎時に1日の様子を伝え、子どもの状況等を共有するようにしている。 ・保護者に困り事や相談等がある場合、早期に対応や回答をしている。 ・保護者の希望や要望に対して柔軟に対応している。 ・専門用語を出来るだけ使わないようにしている。 ・保護者面談を定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも相談しやすい環境を整えていく。 ・HUGで情報発信を行っていく。
2	職員が意見を言いやすい、働きたいと思える環境作りに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGで業務日報等をいつでも確認できるようにし、気になる点や児童への対応について共有できるようにしている。 ・回覧板で伝達事項や通知等を共有している。 ・支援前後にミーティングを行い、今日の取り組みや報告を行う機会を作っている。 ・1人1人職員の意見を大切にしながら療育や支援に反映させている。 ・職員自身が楽しめることを大切にプログラムを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を行いながら、支援の幅を広げていく。
3	子どもが楽しく通え、自立できる力を身につけられるように療育等に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども目線に立って、支援や療育内容を工夫している ・様々な体験・経験ができるように、戸外活動等を組み込みながら活動プログラムを考えている。 ・挨拶やお礼などの伝え方について学べるように支援し、できた時はしっかりと褒めている。 ・個々の課題に合わせて、活動プログラム中は補助し、自分で出来ることは自分で取り組むようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の意見をしっかりと聞き、活動プログラムに反映させていく。 ・見通しを持ちやすいように構造化を工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者への支援が十分に行われていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士が交流できる茶話会等が行えていない。 ・ペアレントトレーニング等の家族支援が行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に午前中を使い、茶話会の企画を検討する。 ・家族支援に対するニーズを保護者に確認していく。
2	・研修のフィードバックができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受ける機会は増えたが、研修報告書が標準化されていないことや、報告する場を持っていない。 ・研修で学んだことが個人単位で止まっていることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告書のフォーマットを作成し、職員に周知する。 ・職員会議の場で、研修報告をする機会を作っていく。
3	・地域交流の場が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつりで地域の方が参加できるように企画しているが、それのみになっている。 ・地域のお祭り等があれば行っているが、主体的には参加できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を招待できるような企画を検討していく。 ・地域のお祭りに関わるように関係性を構築していく。